

視聴覚教育

NO. 441

発行日

30.6.1

編集・発行

岡崎市 A V L

編集協力

現職研修委員会

学習情報部

これ知ってる！？

I o T (アイオーティ)

「Internet of Things」の略。直訳で「モノ(物)のインターネット」。家電などあらゆる「モノ」がインターネット経由でつながり、自動的に情報収集・分析・伝達・操作が行われる仕組み。表参道では、ゴミの蓄積状態がリアルタイムに分かる「スマートゴミ箱」の実証実験が行われている。

視聴覚教育あれこれ！！

平成三十年度学習情報部方針

研究主題

情報活用能力を基盤とした学びを通した、未来社会をあかろく・たくましく生きる子供の育成

研究の重点

①【各教科・領域の授業における効果的なICTの活用】

ICTの効果的な活用を通した、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた研究

②【各教科・領域の授業で横断的に進める情報活用能力の育成】

未来社会をあかろく・たくましく生きるために必要な、子供たちの情報活用能力の育成の研究

③【教師のICT活用指導力の向上を通じた教育情報化の推進】

授業に生かせる教師のICT活用指導力の向上と、ICT活用による効率的な校務の実現

各主任部会の活動

〔広報活動部〕

月報「視聴覚教育」の編集協力

「視聴覚・情報教育の手引き」の編集協力

「岡崎の視聴覚・情報教育」の編集協力

〔授業研究部〕

タブレット端末活用、プログラミング教育、情報モラル教育など、授業の実践と事例原稿執筆

〔研修推進部〕

各種研修会の計画・実施

教材の開発と授業での活用方法の研究

学習情報主任向けメールマガジンの配信

「視聴覚・情報教育の手引き」

第23集

今年度も、役立つ情報が盛りだくさんの手引きが発行されました。ぜひ活用ください。



新学習指導要領への移行に際して

現職研修委員会学習情報部長 本間 茂夫

平成三十年度、いよいよ新学習指導要領への移行期間が始まりました。今回の指導要領では、道徳の教科化・小学校外国語科の新設とともに、「プログラミング学習」が新たに、重要命題として示されました。情報技術が飛躍的に発展し続ける未来社会を生きる子供たちにとって、プログラミング的思考や情報モラルを含めた、情報活用能力を身に付けることは必須の課題となっています。しかし、こうした学びを具現化する新学習指導要領が完全実施されるまでに、私たちが取り組むべき課題が多くあります。

岡崎市では、こうした動向を視野に入れながら、学校におけるICT環境の整備が進められます。本年度は、全小学校へのタブレット端末導入や、一部小学校のパソコン教室のパソコンの更新、校内LAN整備等が行われる予定です。特に小学校へのタブレット端末の導入は、私たちが「主体的・対話的で深い学び」を創造する上で、大きな力になると期待しています。タブ

レット端末の活用研究は、これまで中学校が中心となつて進められてきました。ここまでの研究で得られた知見を活かし、本年度以降は、小中両校種で子供の「深い学び」につながる活用法の研究を進めていきたいと考えています。

また、冒頭に示したプログラミング学習についても、その研究や実践を推進していくことは、本年度の大きな課題です。小学校におけるプログラミングは、コーディングを覚えることなく、プログラミング的思考の育成がその主眼です。各教科の目標を達成するためのプログラミング学習は、これからの実践研究が待たれています。今年度は、市内におけるプログラミング学習の着実な研究・実践を期待します。

今後は、予測困難な未来社会がやってきます。その中で子供たちが、明るくたくましく生きるために、プログラミング的思考を含めた情報活用能力の育成は、今後重要性を増していきます。情報を主体的に捉え、新たな価値を創造できる子供たちを育てるため、私たちは実践を積み重ねていかなければなりません。改めて地に足をつけた着実な取り組みを進めていきましょう。

Ⅱ平成三十年度 学習情報部組織Ⅱ

部長

本間 茂夫（男川小）
 名倉 嘉章（新香山中）
 小田 哲也（愛宕小）
 森 竜師（竜谷小）

教育委員会担当

川本 祐二（総務課 学校情報係）

視聴覚ライブラリー

内田 雅之

指導員

村田 貴志（井田小） 近藤 雄一（六南小）

世話係

杉山 康子（六北小） 成瀬 正和（羽根小）
 鈴木 広樹（額田中） 太田 尚志（北中）

各部世話係

〔広報活動部〕

鈴木 広樹（額田中） 太田 尚志（北中）
 藤渕 俊旭（矢北小） 石谷 遼一（生平小）

〔授業研究部〕

杉山 康子（六北小）
 高瀬 玲子（愛宕小）
 水野 利明（矢作中）

〔研修推進部〕

成瀬 正和（羽根小） 中山美奈子（竜南中）
 鈴木 一史（竜海中） 服部 将也（梅園小）
 荒井奈穂子（岩津小）



各種大会・研究会の案内

《研究会》

- ・三教研ICT活用研究会（八月三日）
- ・県放送教育特別研究会（八月二十三日）

- ・県学校視聴覚教育研究大会（十月）
- ※他にも多くの大会や研究会が予定されています。

《研修会》

- ・授業力・教師力アップセミナー（八月二日）

※この他に学習情報部の自主研修会（TAV）も三回予定されています。

《研究論文》

- ・パナソニック教育財団実践研究助成（例年一月下旬締切）

- ・東書教育賞（十月二十日締切）
- ・ちゅうでん教育振興助成、ちゅうでん教育大賞（六月十一日締切）

※県や市の教育論文をはじめ多くの機会があります。日頃の実践成果をまとめてみましょう。

《コンクール》

- ・ふるさと岡崎メディアコンクール
- ・愛知県自作視聴覚教材コンクール
- ・キューブ活用コンテスト

- ・「コラボミュージアムCity作品づくりコンテスト」
- ・RISO「プリントコミュニケーションひろば」など

《児童・生徒のコンクール》

- ・NHK杯全国中学校放送コンテスト愛知県大会
- ・アジア国際子ども映画祭
- ・日本子ども映画コンクール
- ・パナソニックKWN日本コンテスト など

ライブラリーだよ

所長

小野 鋼二

所長補佐

内田 雅之

職員

鳥居 貴浩

西村 知江



平成三十年度の始まりです。皆様よろしくお願ひします。初回は視聴覚ライブラリーのお紹介です。積極的に御相談、御利用ください。

●教材の貸出し

貸出用教材はDVDから16ミリフィルムまで四千本以上あります。授業の他各種行事や昼の校内放送用として御利用ください。検索・予約は各校へ配付した教材目録の「利用者用マニュアル」に従って行ってください。

●映像の編集・制作に関する支援

視聴覚ライブラリーでは、学校での映像制作や編集に関する様々な支援を行っています。撮影用ビデオカメラの貸出、編集の技術指導、デュープリケーターを用いたDVD・CDの複製（著作権上問題のないもの）などです。

●情報モラル出前講座

視聴覚ライブラリー職員が、児童生徒や保護者を対象に、情報モラルに関する講習会を随時行っています。ネット社会の危険な面を紹介したり、トラブル回避の具体的な方法について説明したりします。申込用紙は視聴覚ライブラリーHPからダウンロードできます。